

令和元年度のタイムライン運用について

令和元年8月19日(月)

第11回石狩川滝川地区水害タイムライン検討会

タイムライン運用の概要

いつ、誰が、何を。時系列にそった表を作成してタイムラインは完成。というものではありません。

各機関、各部署が（事務局など）誰かに任せきりにせず、状況等に応じて自律的に対応すること、タイムラインの運用・維持管理を含めた協力のうえで地域防災を皆で共に行うことが重要です。

■ポイント

①本運用にむけて各機関・部署は積極的に協力する

（防災行動、タイムラインの更新にむけた各作業など。自分達が行う。という意識が重要です。）

②情報項目の再精査（本検討会WS）を踏まえて情報連絡・共有を行う

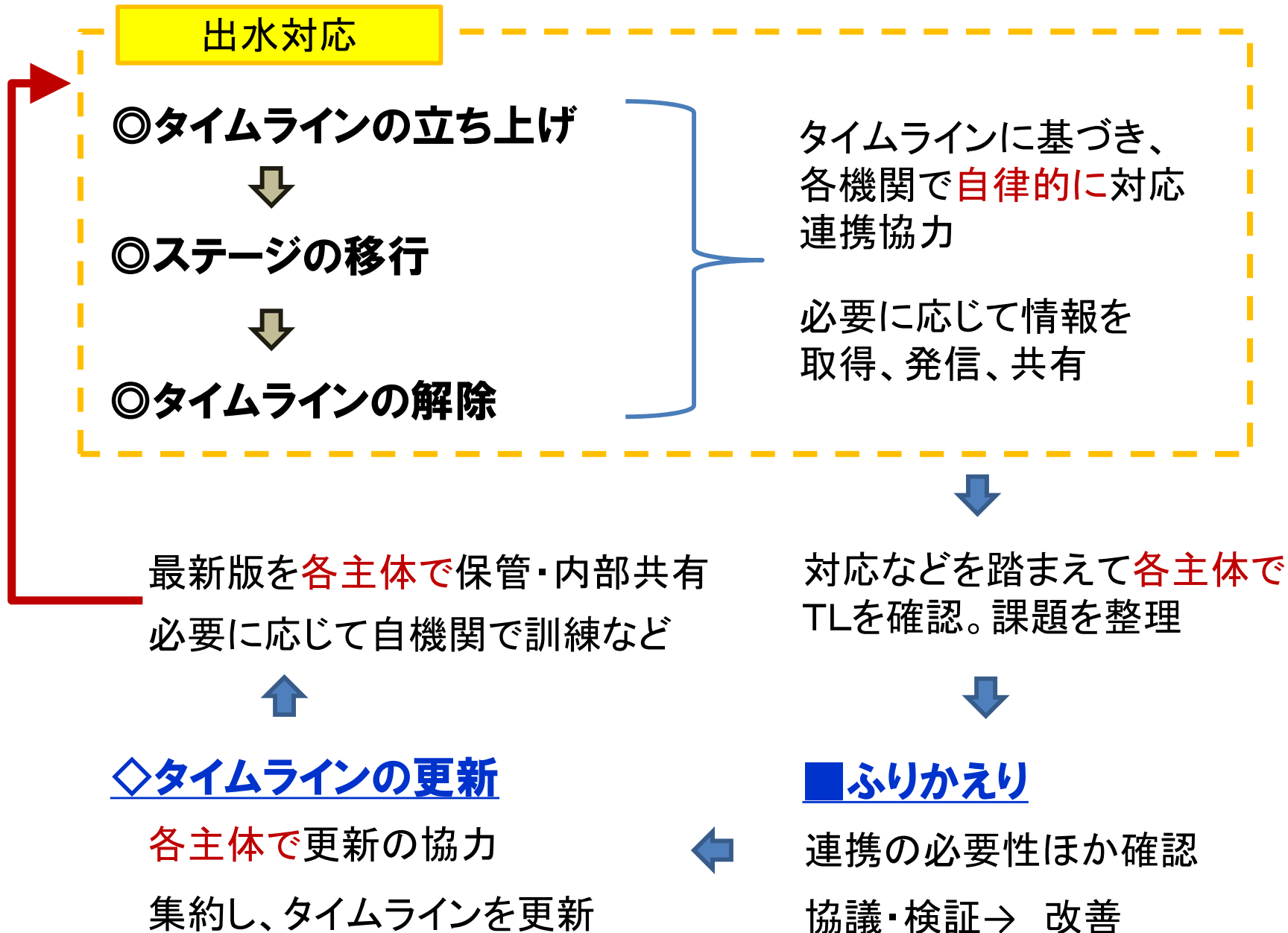
（緊急非常時に欲しいタイミングで欲しい情報が誰かから自動的に届けられる。ということはありません。

緊急時にどうすれば円滑に情報共有できるか各自の努力が必要です。）

③“ふりかえり”にむけた対応等記録、改善にむけた確認を行う

（作成して終わりではありません。地域のために改善を図りながら使い続けるものです）

タイムライン運用の流れと留意点



情報連絡における試行案

メール連絡の件名(案) **内容←発信者**

できる限り簡潔に。
表題で内容が分かるように。

事象	メールの件名記載
タイムラインの立ち上げ	滝川TL立ち上げ←滝川市
タイムラインのステージ移行	滝川TLステージ1から2へ移行←滝川市
タイムラインの解除	滝川TL解除←滝川市
ほか	内容←発信者

メール連絡の本文(案)

表題	滝川地区TL立ち上げ←滝川市 滝川地区タイムライン関係各位
本文	台風○号にともない、○月○日○時○分より、「タイムラインを立ち上げる」こととしましたので、お伝えします。

※情報項目の再精査(本検討会WS)を踏まえて、メールによる連絡(PUSH)項目を整理。
いずれも、可能な限り、簡潔にする。

できる限り簡潔に
(スマホではない人も居る)

今年度出水期は、現行のメーリングリストを利用。
次年度の本運用にむけての連絡運用方法を検討する。

“ふりかえり”にむけて(依頼事項)

タイムラインは地域に即した防災を考慮し、「いつ」「誰が」「何をする」を参加者で協議のうえ、ベストを目指して作成していくものです。

しかし、地域事情、参加機関、担当者など変化は常にあるほか、完璧な防災行動はあり得ません。

完成した後も、運用のたびに課題を踏まえ、“ふりかえり”を通じて次に活かすべく、改善を図っていく必要があります。

■第12回検討会(今年度の非出水期)における“ふりかえり”

〈様式自由〉※各主体でまとめ:集約目途 12月 ⇒ 事務局にて回収

- ・どんな災害対応をしたのか
- ・出来た事、出来なかった事、困った事
- ・出来ないと思う事(そう思う理由、どうすれば出来ると思うか?)
- ・運用して気がついた事
- ・今後活かしたい事
- ・タイムラインで修正すべきと考える部分
- ・ほか

【各主体への依頼事項】

(記載出来る範囲で)

“ふりかえり”は、**今後も継続的に行う必要があります。**
各主体は自主的にまとめ、協力を心掛けましょう。